
東方大神伝

とむなっぼー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

東方大神伝

【Nコード】

N7974Z

【作者名】

とむなっばー

【あらすじ】

アマテラス達の前に突然ヨシペタイにあるはずの幽門扉が現れ、アマテラス達を吸い込んでしまう。門の先は忘れられた妖怪や神々が人間と共存する結界に包まれた楽園、幻想郷だった・・・

プロローグ（前書き）

処女作のため誤字やキャラの口調がおかしいかもしれませんが、おかしいところがあった場合感想で教えていただければありがたいです。

プロローグ

吹雪が吹き荒ぶイワリク神殿、そこに2匹の狼と1人の小さな妖精という不思議な組み合わせと、2体の巨大なからくり仕掛けの梟の様な姿をした魔神が相見えていた。

「やっと追いつめたぜエ・・・今度は逃がさないぜエ！」
「ワンツ！」

白い身体に背中に神器を背負う紅い隈取をした狼の上で小さな妖精が飛び跳ねながら啖呵を切り、その言葉に反応するかのように吠える狼。妖精の名をイツスン、白い狼の名をアマテラスと言う。

「ここで逃げられでもしたらこちらの体力が持たん・・・ここで奴等を倒す！」

青い身体に紅い鬘(たてがみ)を纏う剣を背負った狼、名をオキクルミと言う。

「・・・・・・・・・・・・・・・・」

それに対し無言で不気味な気配を発する2体のからくり仕掛けの梟、黄金魔神モシレチク・白銀魔神コタネチクといい、イワリク神殿のあるカムイを滅ぼさんとする魔神であった。

今まさに戦闘を始めんとしたその瞬間、地面が揺れ始めた。

「ワフツ!？」

「うわわわわ! いったい何なんだア!？」

突然の地震に戸惑うアマテラス達。すると驚くことにアマテラス達の目の前に扉が現れたのだ。

「この扉は・・・!」

「おいおい、なんで幽門扉がいきなりこんなところに現れるんだア!?」

「・・・・・・・・・・・・・・・・!?!」

幽門扉、その扉を開くと違う世界の違う時代に行けるとされている。だが、その扉はヨシペタイの奥にあるはずだ。しかもその扉を開くにはコロポックルの長の一族が持つ刀、イツスの持つ電光丸が必要にもかかわらずその扉が開いている。突然の出来事に動揺を隠せないイツスンとオキクルミ。すると幽門扉が光り出し、アマテラス達を吸い込み始めたのだ。

「ワフツ!?!」

「うわわわわわ!?!す、吸い込まれちゃうぞ!?!」

「いったい何が起こっているというんだ!?!」

「・・・・・・・・・・・・・・・・!?!」

何とか踏ん張ろうとするアマテラス達。だが扉の吸引力が強く、ついに身体が浮いて扉に吸い込まれてしまう。

「う、うわあああああああ!?!」

「わおーん・・・・・・・・」

「くっ・・・・・・・・」

「・・・・・・・・・・・・・・・・」

ついに吸い込まれてしまったアマテラス達。その後その場には吹雪

の荒ぶ音だけが残っていた……

イワリク神殿と同じくカムイに存在するラヲチ湖、そこに巨大な船が沈んでいた。

船の名を箱舟ヤマト、その船の上に1人の男が立っていた。

「常闇ノ皇…… ユーだけはミーが絶対に倒してみせる……」

英語混じりの妙な口調をするこの男、名をウシワカと言った。するとウシワカの隣に再び幽門扉が現れたのだ。

「こんなところにドアが…… ってうわあああああああ！？」

こんなところにドアなんてあったか？そんなことを考えている内にウシワカも幽門扉に吸い込まれてしまった。

「ZZZ・・・・・・・・ZZZ・・・・・・・・」

神木村、その村にある自宅で気持ちよさそうに寝ている男、名をスサノオといい100年前にヤマタノオロチを封印した伝説の英雄イザナギの子孫である。
するとスサノオの前に幽門扉が現れスサノオを吸い込み始める。

「ZZZ・・・・・・・・ZZZ・・・・・・・・」

しかし自身の体が宙に浮いているにも関わらず、スサノオは起きる気配すら見せない。そのまま幽門扉に吸い込まれてしまった。
・

「あら・・・ 誰かが迷い込んできたようね・・・」

手に傘を持ち妖艶な雰囲気醸し出す女性、八雲紫。

「まあ・・・ しばらくは様子を見てみましょうか・・・」

そついで空間に切れ目をいれてどこかへ去っていく紫。アマテラス達がこれから訪れる世界は人里離れた山奥の辺境の地に存在する忘

れられた妖怪や神様が人間と共存する世界。 名を幻想郷という・・・

プロローグ（後書き）

東方×大神というごく少数の人しか得しないような内容だけど妄想が止まらないので書いてしまった。反省はしてない。

これも全てアマ公が可愛すぎるせいなんだ！俺のせいじゃ（ry
ある程度の流れと終わり方は決めているので、エタる事は無いと思います。また、感想と評価を書いていただけると嬉しいですよ。
更新は不定期になりますができるだけ速く更新できるようにしますので、応援よろしくお願いします。

あとウシワカの口調が難しすぎる・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7974z/>

東方大神伝

2011年12月25日17時49分発行